

関節の病気解説

蘭

製鉄病院
深谷医長

治療法も詳しく

室

製鉄記念室蘭病院 (前田 征洋病院長) の「第21回市民健康セミナー」が7日、室蘭市知利別町の同病院で開かれ、市民らが股関節や膝の病気のほか、人工関節を用いた治療法などについて知識を深めた。

約80人が出席。深谷英昭整形外科医長は、膝には変形性膝関節症などの「運動時痛」と、関節リウマチなどの「安静時痛」があり、「ほとんどは運動時痛を訴える」と説明。「75歳以上で80%が起る」とした変形性膝関節症の症状や進行度などについて写真を用い

て説明した。

変形性膝関節症の治療は「年齢やステージ、生活状況」によって、装具療法や薬物療法、運動療法、手術療法を用いることを解説。

「関節が高度に破壊されるまで進んだ場合や激しい痛み、機能や動きが制限されている場合には、人工膝関節置換術を用いる」などと話し、市民らは熱心に耳を傾けていた。(松岡秀宜)

~~~~~  
股関節や膝の病気、人工関節を用いた治療法などを解説する深谷医長

